

み

す

つ

け

タ

ウ

ン



～わたしたちのまちのハンドメイド青空バザール～



●**手のとどくアート** 出店の多さ、品物のバラエティの豊富さからもちろんワクワク度いっぱいの市ですが、企画当初から「敷居の低いアートの催し」となることを目指したそうです。プロの芸術家ふうではない、誰もが楽しめる「手づくり」感覚。それでいて、プロの出店もあれば、グランプリ・コンテストなどのレベルを高める仕掛けがあって、それもお客様のワクワク度をさらに高めています。

●**アートクラフトのまち・大野** 700組に及ぶ出店希望者の半数以上が県外応募者という全国から注目されるイベントになってきていますが、まちの関心はまだまだ。そこで工夫されたのが体験コーナー。ベッドタウンだからこそ、趣味の充実を提案し、アートクラフトなら相模大野と呼ばれるようにしたい。青空市場がそのままこのまちの文化祭になることを目指していると実行委員会のみなさん。



とんぼ玉作家
teku teku
ほあこさん

2014年11月秋の市、トンボ玉作品「くまさんとかえるさん」で「グッズぐらんぶりに」エントリーしたなおこさん(左写真)は、座間市在住。先行して始まったインターネット中間投票結果で1位になっているのを見て、思わず嬉しくて泣いてしまったと打ち明けてくれました。細かな細工のとんぼ玉は、その細工が細かすぎて、なかなかその努力が認めてもらえないと、可愛く嘆いていました。クラフト市は、とても大切な作品発表の場だそうです。そんな会話を楽しむのも、開放感あふれる青空市だからですね。

すべ～す編む編む
市川 久代さん



手づくりだからこそ、ひとつひとつの作品に物語があります。そのことを出店の方と会話してみつけるのもいいですね♡



●**地元絡ぐるみで** 全国的に有名になることだけを求めず、地元にとって有益で楽しい催しにする。また、そうなることで、全国から来てくださるお客様や出店される方がこのまちの良さをさらに評価して大切にしてください。そんな循環を実現するには、やはり、地元市民の力が必要です。ここまで育ったアートクラフト市、商店街のみなさんだけに任せず、わたしたちの参加で、もっと楽しくしちゃいませんか？すでに、2015年4月26日開催・春の市のエントリーが始まっています。わたしたちも、春の市"盛り上げ隊"として、できること探してみませんか？**地元からの加勢をぜひお願いします。お問い合わせは開催事務局まで。**

開催予定
**春の市
2015**

第17回 相模大野アートクラフト市

4月26日(日)

予備日4月29日(祝) ※当日雨天の場合は中止

●時間：販売開始11:00 → 終了17:00

●会場：小田急線「相模大野」駅前

主催●相模大野駅周辺商店会連合会

主管●相模大野アートフェスタ実行委員会

開催事務局 ☎042-267-5915 (藤川)

編み込みお正月飾りをで「グッズぐらんぶりに」エントリーされたのは「すべ～す編む編む」さん。相模原市中央区、税務署近くで30年以上続いている編み物教室の先生と生徒のみなさんでした。生徒さんの最高年齢は91歳。教室で編み物しながらお茶のみがするのがとても楽しい、と。クラフト市の売上、およそ10万円ぐらいいは糸代になるそうです。イギリス仕込みの編み柄は左端に拡大した写真で紹介させていただいてます。

中学生のための"キャリア塾"開講!

～いま、先輩たちが伝授する生き抜く力～

上鶴間大人塾

社会でさまざまなキャリア積んできたメンバーからなる地域サークル「上鶴間大人塾」。それぞれが得てきた知識と生きるヒントを地域にフィード・バックさせたいと、これまで小学校と組んで総合学習のお手伝いなどをされてきました。「ああ、あのときのおじさんや



▲準備をすすめる大人塾のメンバーのみなさん

【講座の開催日と主な内容】

いずれも時間は13時～15時

受講は無料

第1講	2月28日 (土)	わが青春に悔いなし～辞職してヨットで世界一周～
第2講	3月1日 (日)	人生に満ちホームランはない～食文化を変えたワケカド～
第3講	3月22日 (日)	80年間の生き方を語る～私の場合、みんなの夢はなに?～
第4講	3月28日 (土)	話し合いでつくる～生き抜く力を育てる"羅針盤"
第5講	3月29日 (日)	社会人になるって、なに? 自分の人生は自分でつくる

就活や非正規雇用など中学生のみなさんにも不安なことばが聞こえてくる時代になりました。豊富な社会経験を持つ講師陣が自らの体験を語り、中学生と語り合おうというのが、この「キャリア塾」です。

こんな面白い人たちがいると知れば、それは生き抜く力になるはず。こんな生き方もあると知れば、もっと自由に夢をえがき、もっと楽しく自分の未来を考えていけるのではないのでしょうか。中学生のみなさん、ぜひ、のぞいてみてくださいね～!

定員中学生20名(先着順、上鶴間公民館窓口か☎042-749-6611へ)

座席に余裕があれば、当日の飛び込み参加もできますよ。



クリップ・ボード

ここですと暮らしたい市民のための語り場

円卓ミーティング

いよいよ最終回 しめくりです

ここぞうん8号でお伝えしたように、第1回、第2回と円卓ならでの意見交換のなかで課題出しを行い、まちづくりの可能性を具体的に考えようと意欲を高めてきました。最終回となる3回目は、さらに具体的にまちづくり、居場所づくりのための情報交換を盛り込んだミーティングとするため、ゲストをお迎えします。今後につながる市民力を高めていきましょう。発意ある老若男女の皆さん、お集まりください!

※この事業は、さがみはら市民協働ファンド・ゆめの芽による助成金を得て開催されるものです。

ここぞうんと主催

市民にとっての パートナーシップを考える連続講座 開講中!

昨年10月から始まった連続講座は年越し1月まで、市民フォーラムさがみはら理事長・島山昇さん、相模原市市民協働推進課・鈴木亜由美さん、相模女子大学・松下啓一さん、NPO理事兼予備校講師・奥津茂樹さんを講師に迎え、市民にとっての社会の仕組み＝まちづくりを考えて、連続講座の折り返しを迎えようとしています。2月は環境情報センター長の斎藤奈美さんを講師に「相模原市の指定管理者制度を知る」、3月は認定NPO法人らいぶらいいぶさんから「相模原の業務委託の現実から考える」と学びを深めていく予定です。連続とはいえ、いつからでも、どの講座だけでも受講歓迎です。

【とき】毎月第3日曜日
PM7:00～9:00

【ところ】大野南公民館

【資料代】500円

【受講申込み】ここぞうん宛

※これまでの講義録は、ここぞうんのHPで見ることができます。

NPO法人ここぞうんとは、2015年、コミュニティ・シアター開催活動に取り組みます。

※この事業につきましては、さがみはら市民協働ファンド・ゆめの芽による助成が決定しております。

カフェ『ここdeコミ』※原則、毎月第3日曜日どなたでも出入り自由。

もちろん、市民相談窓口も開いています。相談は☎042-745-0676へ。

おしらせ:「児童発達支援・放課後等デイサービス たいにい・ぼくす」開所に伴い、事務所体制が変わりますが、ここぞうんの連絡先等に変更はありません。

ありがとう

GALLERY

Sagan



とと
みせ

夏の終わりの名物催事
「100枚のミニチュア展」▲

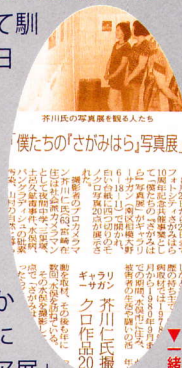
大野銀座商店街通りから、谷口台小学校の正門前にお店を移し、このまちのギャラリーとして馴染んできたサガンさんは、12月28日をもって15年間の営業に区切りをつけ、閉店となりました。

オーナーの安藤珠代さんが、大好きなフランスの作家フランソワーズ・サガンからもらって名付けたかわいいギャラリーでは、いつも興味深い展示が行われていました。安藤さんの感覚を生かした催しはもちろん、毎年夏の終わりに開催されていた「100枚のミニチュア展」

ではこのまちの人のつながりを見る思いがしました。また、まちづくりや市民活動への理解から生まれた、採算にこだわらない催事も、安藤さんの元だからこそ実現できたものでした。

まちのなかに拠って、つながりを実現し、機会を拡げてくれたサガンさんに、厚い謝辞を贈りたいと思います。安藤さんは、閉店後もこのまちの住人、隣人であることに変わりありません。これからも、ここですとまちづくりに活躍されることでしょう。なおさらに、サガンの閉店に際し、改めて言ひましよう。

「これまでありがとう。これからもよろしく!」



「僕たちのさがみはら」写真展

2010年8月、フォトシテイさがみはら10周年に市民グループとともに企画参加。一緒に取り組んだ企画は、新聞などでも取りあげられました。

Information

広告

株式会社すとろくが運営する
児童発達支援・放課後等デイサービス



たいにい
ぼくす



4月1日
オープン

弊社が地域貢献の一環として、【NPO 法人ここぞうん】や【「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク】の事務局として提供してきたスペースが変身を遂げます。

もっと身近に、もっと足を踏み出して、地域福祉に貢献できる企業になるために。

【たいにい・ぼくす】の支援方針は、この4つ。

1. 子どもと家族のニーズに寄り添うサービス
2. 成長を見守り、気持ち共有する場づくり
3. ライフステージに合わせた連携づくり
4. 福祉の先駆けとなるサービス提供

まずは、☎042-745-0646 にお電話ください。
施設見学とプログラムのご案内をいたします。

『フリー情報紙 ここぞうん』 No.9

【発行日】2015年1月25日

【発行者】NPO法人ここぞうん

〒252-0303 相模大野9-6-18-2F
ここぞうん編集室



ご意見、投稿、記者志望者は
ここぞうん編集室へ

【TEL】042-745-0676 【FAX】042-742-0447

【E-mail】info@cocozutto.jp